

番号	9	事業名	交通安全	市町村名	上田市	路河川名	(国)144号	箇所名(ふりがな)	住吉(すみよし)																																
事業計画時の課題・背景及び事業経緯	○地域からの要望経緯と対応		<ul style="list-style-type: none"> ・ 上田菅平I.Cから上田市街地までの区間で、唯一の歩道未整備区間 ・ 沿道開発の進展により、歩行者・自転車の通行が増加したため、歩道設置の要望有 			②事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい)		評価																																
	○事業説明等の主な経緯		<ul style="list-style-type: none"> ・ H20.11.19: 染谷自治会へ事業説明 H21.3.26: 地権者他へ計画説明 ・ H21~H25: 用地買収 H25~H26: 工事施工 ・ 終点側にある病院の増改築(H25~H26)に併せ、歩道設置をL=90m延伸し、工期を1年延長 				○歩道設置により沿道住民の生活環境は、整備前の危険な状況からは大幅に改善している。		A																																
事業目的	○事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景		<ul style="list-style-type: none"> ・ 上田菅平I.C周辺の道路は高速道路の開通にあわせ道路改築事業により整備されたが、上田市街地までの一部区間で歩道の整備が遅れていた。 ・ (国)18号バイパスの開通に伴う商業施設の出店に加え、周辺の宅地化が進んだことにより、当該道路の歩行者自転車の通行が増加し、歩道整備の必要性が増した。 			③施設の維持管理状況	施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切 C:やや不十分 D:不適切)		評価																																
	○他事業・プロジェクトとの整合、関連		<ul style="list-style-type: none"> ・ 用地取得にあたり、病院の増改築、大型店舗出店の開発計画と整合を図った。 				○道路の維持管理は県の現地機関で行っており、週1回以上の道路パトロールを実施し、異状の確認に努めている。		B																																
事業概要	当初工期	H21~H25	費用対効果(当初時)	—	事業費(千円)	財源内訳(千円)																																			
	最終工期	H21~H26	費用対効果(評価時)	—	上段:当初/下段:最終	国庫	その他	県債	一般財源																																
	当初計画内容(主な工種)	歩道設置工 L=360m W=3.5m		500,000	300,000				200,000																																
	最終事業実績(主な工種)	歩道設置工 L=450m W=3.5m		281,579	168,947				112,632																																
事業期間の延長、短縮理由と分析	○病院の増改築に伴う歩道設置区間の延伸により、事業期間を1年延長																																								
事業費(予算)の増加、縮減理由と分析	○当該区間周辺の民間施設の開発が工事期間と重なったため、当初予定していた既存事業3件の営業補償が不要となったため。また、物件調査の結果、補償費用が当初見込んでいた額を下回ったため。																																								
①事業効果の発現状況	事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成 D:達成したとはいえない)		評価																																						
	直接的効果 (定量的・定性的)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大型車交通量の増加に併せ、歩行者・自転車の通行量も大幅に増えている。 ○ 歩道整備後の事故はゼロであり、歩行者・自動車等の安全な通行が確保されたことが確認できる。 ○ 歩行者の安全性が向上した旨、地元へのインタビューから確認できる。 		B		今後の取り組み及び同種事業への活用と課題 ○ 説明会による早期広報や工期中の地元住民との意見交換会等の情報収集に努め、沿道の関係者と綿密な調整を図ることにより、沿道の開発計画(病院増改築、パチンコ店)と合わせた歩道整備が完了していることはプロセス上評価できる。 ○ 市街地での事業を円滑に進めるため、新規事業採択時には、沿道施設の開発計画の有無を十分調査することが必要。																																			
		<事故件数(イタルダ)> H17~H21(事業着手前 5カ年) 車両相互12件(うち1件は重傷)、歩行者事故なし H26~H27(事業完了後 2カ年) 事故なし <交通量(道路交通センサス)> (国)144号 上田市住吉交差点 大型車・歩行者・自転車(平日12時間)																																							
間接的効果 (定量的・定性的) ※事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況	○沿道の病院や商業施設の利用などの利便性が高まった。																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>歩行者(人)</th> <th>自転車(台)</th> <th>左記計</th> <th>自動車類(台)</th> <th>うち大型(台)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17</td> <td>55</td> <td>49</td> <td>104</td> <td>10,737</td> <td>626</td> <td>着手前</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>61</td> <td>79</td> <td>140</td> <td>10,298</td> <td>548</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>79</td> <td>102</td> <td>181</td> <td>9,283</td> <td>783</td> <td>完了後</td> </tr> <tr> <td>H27/H17</td> <td>143.6%</td> <td>208.2%</td> <td>174.0%</td> <td>86.5%</td> <td>125.1%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			歩行者(人)	自転車(台)	左記計	自動車類(台)	うち大型(台)	備考	H17	55	49	104	10,737	626	着手前	H22	61	79	140	10,298	548		H27	79	102	181	9,283	783	完了後	H27/H17	143.6%	208.2%	174.0%	86.5%	125.1%		所管課意見 ○歩道設置により、安全な通行が確保され、沿道施設の利便性が向上したことから、事業の目的を達成している。		県の自己評価
	歩行者(人)	自転車(台)	左記計	自動車類(台)	うち大型(台)	備考																																			
H17	55	49	104	10,737	626	着手前																																			
H22	61	79	140	10,298	548																																				
H27	79	102	181	9,283	783	完了後																																			
H27/H17	143.6%	208.2%	174.0%	86.5%	125.1%																																				
						技術管理室意見 所管課の意見を適当と認める。																																			